

# 大学図書館における目録実務



平成30年度大学図書館職員短期研修

2018/10/ 2 京都大学附属図書館

2018/10/16 国立情報学研究所

村上 遥 (東京外国語大学附属図書館)



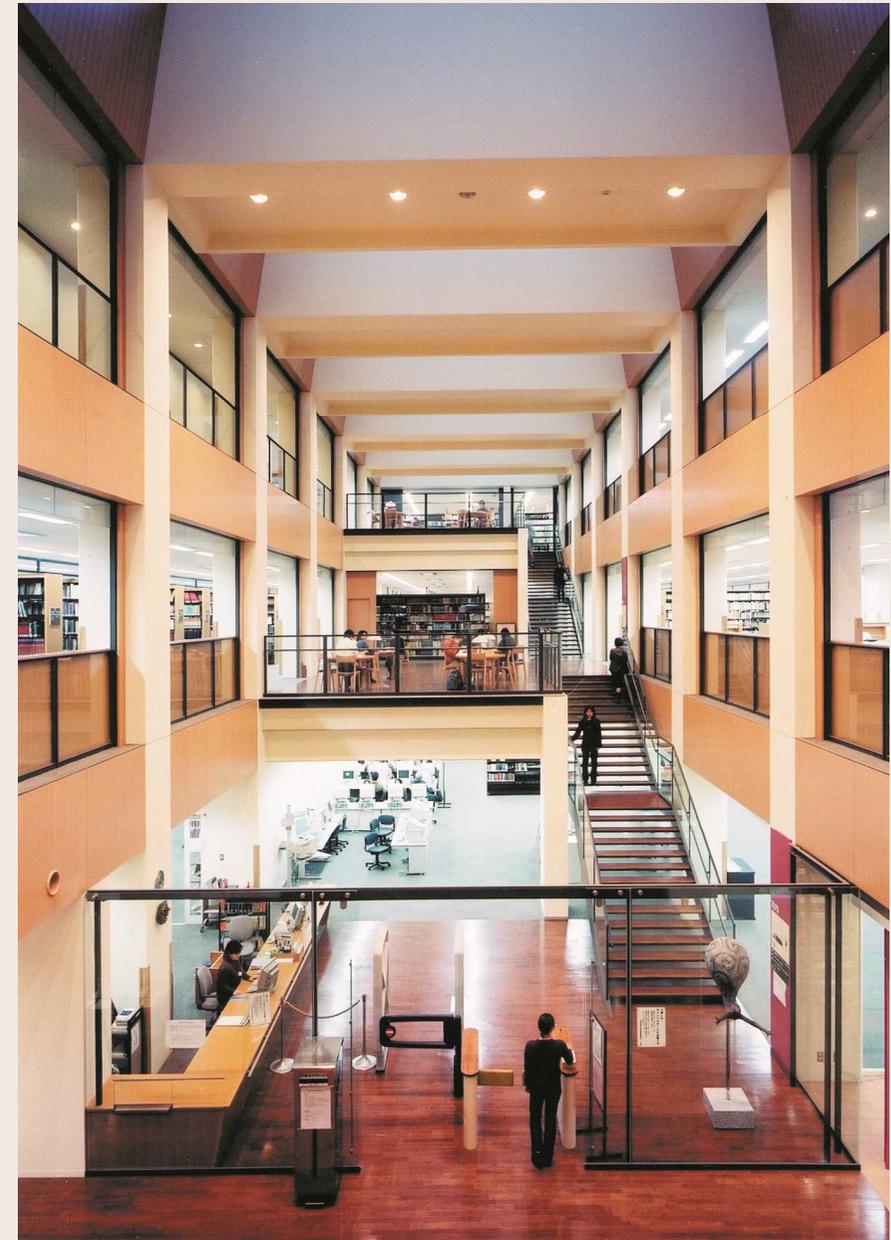
# 自己紹介

- 村上 遥 (むらかみ はるか) ペルシア語系図書館員
- 東京外国語大学 総務企画部学術情報課 目録係
  - 東京外国語大学 図書情報係 (2007)  
→資料サービス係 (2010) →現職 (2012~)
- 外部委員等
  - 日本図書館協会 目録委員会 (2014~)
  - NACSIS-CAT検討作業部会 (2015~2017)
- そのほか
  - 国立大学図書館協会海外派遣事業 短期 (2013)

# 東京外国語大学附属図書館の概要

## 東京外国語大学附属図書館

- 東京都府中市 (2000～)
- 学生数 4,400名
- 図書館職員数 21名  
(常勤 13名 [目録係 3名],  
非常勤 8名)
- 図書所蔵数 73万冊
- **283言語**



# 目次

今後の図書館の企画・活動を担う要員となる上で必要な、図書館業務の基礎知識・最新知識を修得する。

1. 目録とは何か
2. 目録をめぐる最新動向
3. NACSIS-CATを使った目録実務
4. CAT2020

60分 + 15分 質疑応答



# 1. 目録とは何か

# 資料組織

①

②

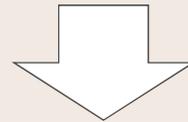
資料や資料情報に秩序や構造を与えて、  
資料を検索できる状態にすること。\*

③

\* (田窪 2007: p. 1の抄訳)

# 資料とはなにか

資料 = 情報資源 information resources  
組織にとっての資源（有用）とみなされた情報。



「大学設置基準」（昭和31年文部省令第28号）

第38条

「大学は、学部の種類、規模等に応じ、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする。」

国立大学では…

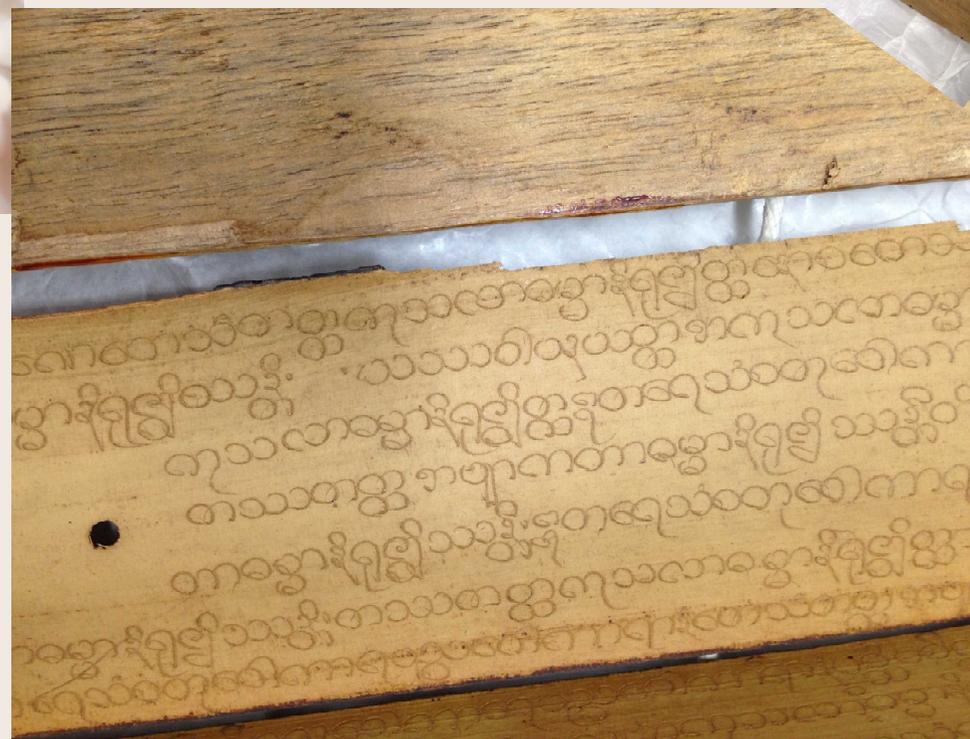
「文部科学省組織令」（平成12年政令第251号）

第63条

「学術機関課は、次に掲げる事務をつかさどる …

(2) 学術に関する研究機関の活動に関する情報資料の収集、保存及び活用に関すること」

# 実際、けっこう色々あるのよ



博士學位論文 (東京外国語大学)  
Doctoral Thesis (Tokyo University of Foreign Studies)

氏名	菅野 博志
学位の種類	博士 (学術)
学位番号	博士第 248 号
学位取得の日付	2018 年 4 月 25 日
学位取得の学科	東京外国語大学
学位授与大学	ブルガリア語・ブルガリア文学部
博士學位論文題目	日本語化

Name	Shigenori Sugano
Degree of Degree	Doctor of Philosophy (Humanities)
Degree Number	Doctor of Philosophy (JAPAN)
Date	April 25, 2018
Grantor	Tokyo University of Foreign Studies
Title of Thesis	Circle Doubling of Objects in the Bulgarian Dialect spoken in Bulgarian Language Contact and Grammaticalization

# 「資料」の射程

コレクション・グリッド

管理責任性

高

低

低

一般的な出版物

フリーアクセスの  
ウェブ資源

唯一性

高

**特殊コレクション**  
稀覯書、郷土資料  
アーカイブ、手稿  
学位論文…

研究・学習資源

Dempsey, Lorcan. Thinking about collections, Fiesole collection development retreat. 2007,  
<http://www.oclc.org/content/dam/research/presentations/dempsey/fiesole.ppt> (2018年8月27日閲覧)

## 秩序や構造を与えて検索できる

<b>既知</b> 資料検索	特定の資料の有無を確認したい。  <b>識別機能</b>	<b>書誌記述</b>	検索された資料が求めるものか識別するための情報
<b>未知</b> 資料検索	利用者の求める条件（「ある著者が著したもの」「ある主題に関するもの」）に適合する資料を網羅的に検索したい。  <b>集中機能</b>	<b>標目</b>  アクセス・ポイント	タイトル標目 著者標目 件名標目 分類標目

+

**所在情報**
**目録 = 対象資料の検索などに必要な一揃いの情報**

## 2. 目録をめぐる最新動向

		日本		日本以外	
		動向	参照URL	動向	参照URL
書誌記述	<b>日本目録規則 (NCR) 1987年版</b> ↓ <b>NCR2018</b>	<b>日本目録規則2018年版</b> 予備版 2018年3月28日公開 <b>本版</b> 2018年12月頃刊行予定	<a href="http://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/ncr2018/tabid/718/Default.aspx">http://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/ncr2018/tabid/718/Default.aspx</a>	<b>英米目録規則 (AACR)</b> ↓ <b>RDA</b>	Resource Description and Access (RDA) 公開 2010年  ベータ版 (IFLA LRMへの対応) 公開 2018年6月13日
	<b>国立国会図書館 件名標目表 (NDLSH)</b>	ウェブ版を「NDL Authorities」で公開  2010年公開	<a href="https://id.ndl.go.jp/auth/ndla">https://id.ndl.go.jp/auth/ndla</a>	<b>米国議会図書館 件名標目表 (LCSH)</b>	ウェブでLibrary of Congress Subject Headingsを公開  Linked Dataを「LC Linked Data Service」で公開
	<b>基本件名標目表 (BSH)</b>	第4版 (1999.7) 第2次標目追加 (2006年末まで発刊資料を対象) あり	<a href="http://www.jla.or.jp/Default.aspx?TabId=186">http://www.jla.or.jp/Default.aspx?TabId=186</a>		
	<b>日本十進分類表 (NDC)</b>	新訂10版 2014年刊行  日本十進分類法のLinked Data形式化に係る共同研究 2015年2月～	<a href="http://www.jla.or.jp/Default.aspx?TabId=602">http://www.jla.or.jp/Default.aspx?TabId=602</a>	<b>デューイ十進分類表 (DDC)</b>	Linked Data を「Dewey.info」で公開… ※2018年8月現在システム停止中
	<b>国立国会図書館 分類表 (NDLC)</b>	2003年からウェブで公開	<a href="http://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/ndlc.html">http://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/ndlc.html</a>	<b>米国議会図書館 分類表 (LCC)</b>	オンライン版はClassification Webで公開 (※有料) PDF版 (2018年2月選定分)は右欄のURLでアクセス可能  Linked Dataを「LC Linked Data Service」で公開

# 日本目録規則2018年版

- ・ 資料種別ごとの規則構成→国際目録原則（ICP） 覚書準拠, FRBR
- ・ RDAとの相互運用性を担保（≠RDAの日本語版）
- ・ 日本における出版状況等に留意
- ・ NCR1987年版とそれに基づく目録慣行に配慮…

## 日本目録規則 1987年版改訂3版 (2006年刊行)

### 目次

- 第1部 記述
- 第1章 記述総則
- 第2章 図書
- 第3章 書写資料
- 第4章 地図資料
- 第5章 楽譜
- 第6章 録音資料
- …
- 第2部 標目
- 第3部 排列

### 付録

## 日本目録規則 2018年版 目次

- 第1部 総説
- 第2部 属性

### <属性の記録>

- セクション1 属性総則
- セクション2 著作、表現形、体現形、個別資料
- セクション3 個人・家族・団体
- セクション4 概念、物、出来事、場所

### <アクセス・ポイントの構築>

- セクション5 アクセス・ポイント
- 第3部 関連

### 付録

## FRBR

## 書誌レコードの機能要件

## Functional Requirements for Bibliographic Records

- 1990年代に国際図書館連盟(IFLA)によって作られ、1998年に報告書が出された。概念モデル

日本語訳

<http://www.ifla.org/files/assets/cataloguing/frbr/frbr-ja.pdf>

- 3つのグループ

- グループ1 著作、表現形、体現形、個別資料

- グループ2 個人、家族、団体

個人／団体

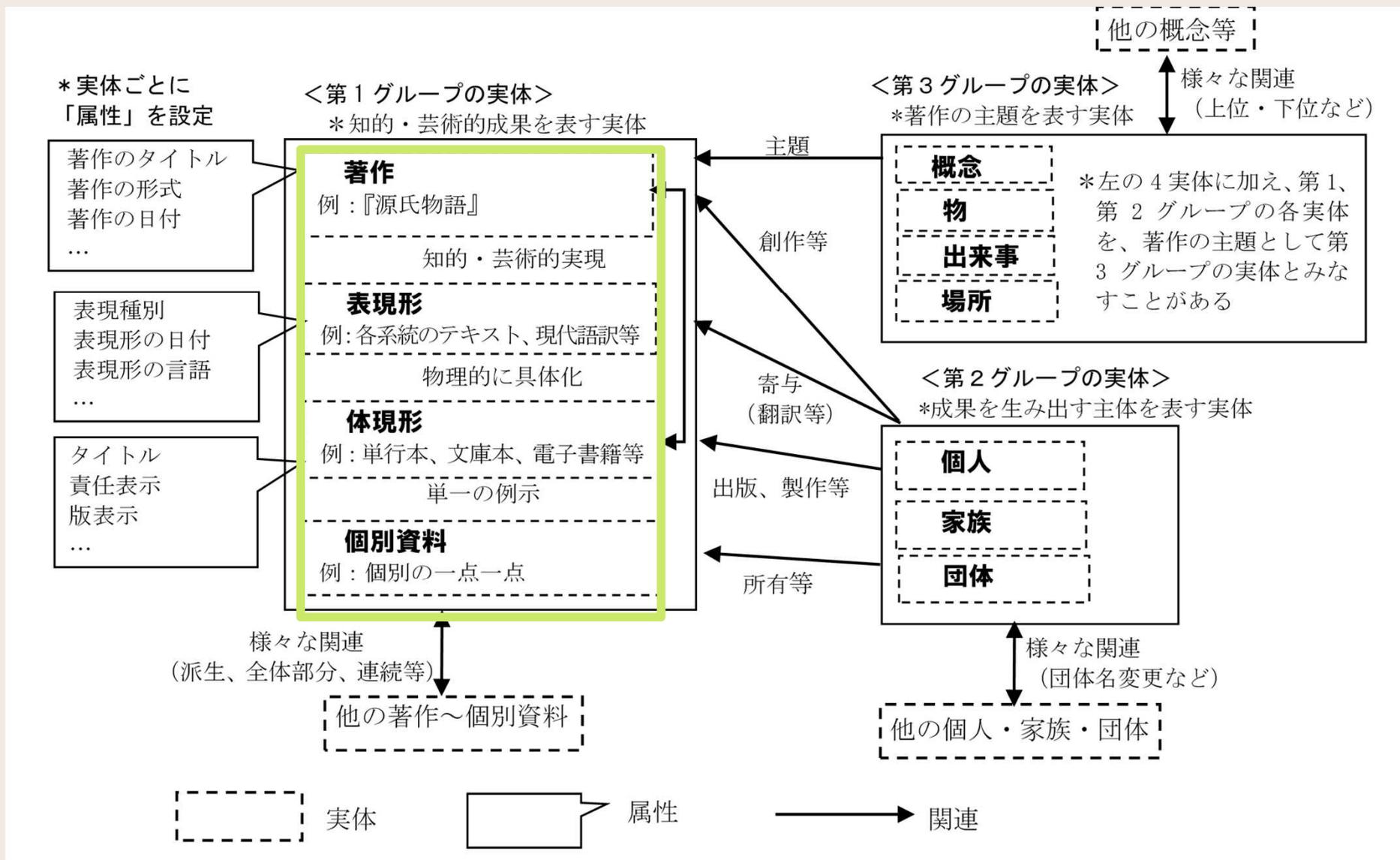
- グループ3 概念、物、出来事、場所

場所

IFLA LRM (Library Reference Model) 2017年8月公開

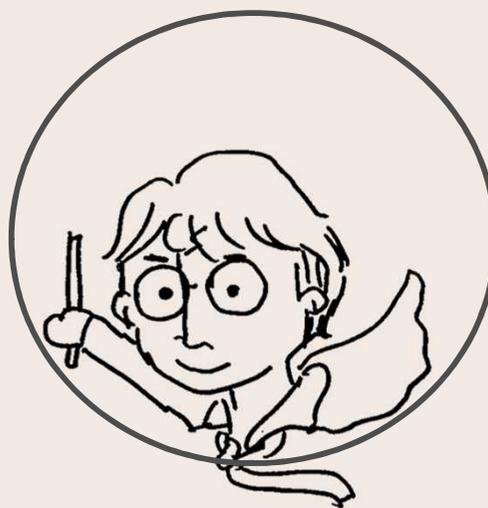


RDAベータ版 2018年6月公開



# 例えば、グループ 1

ハリー・ポッター



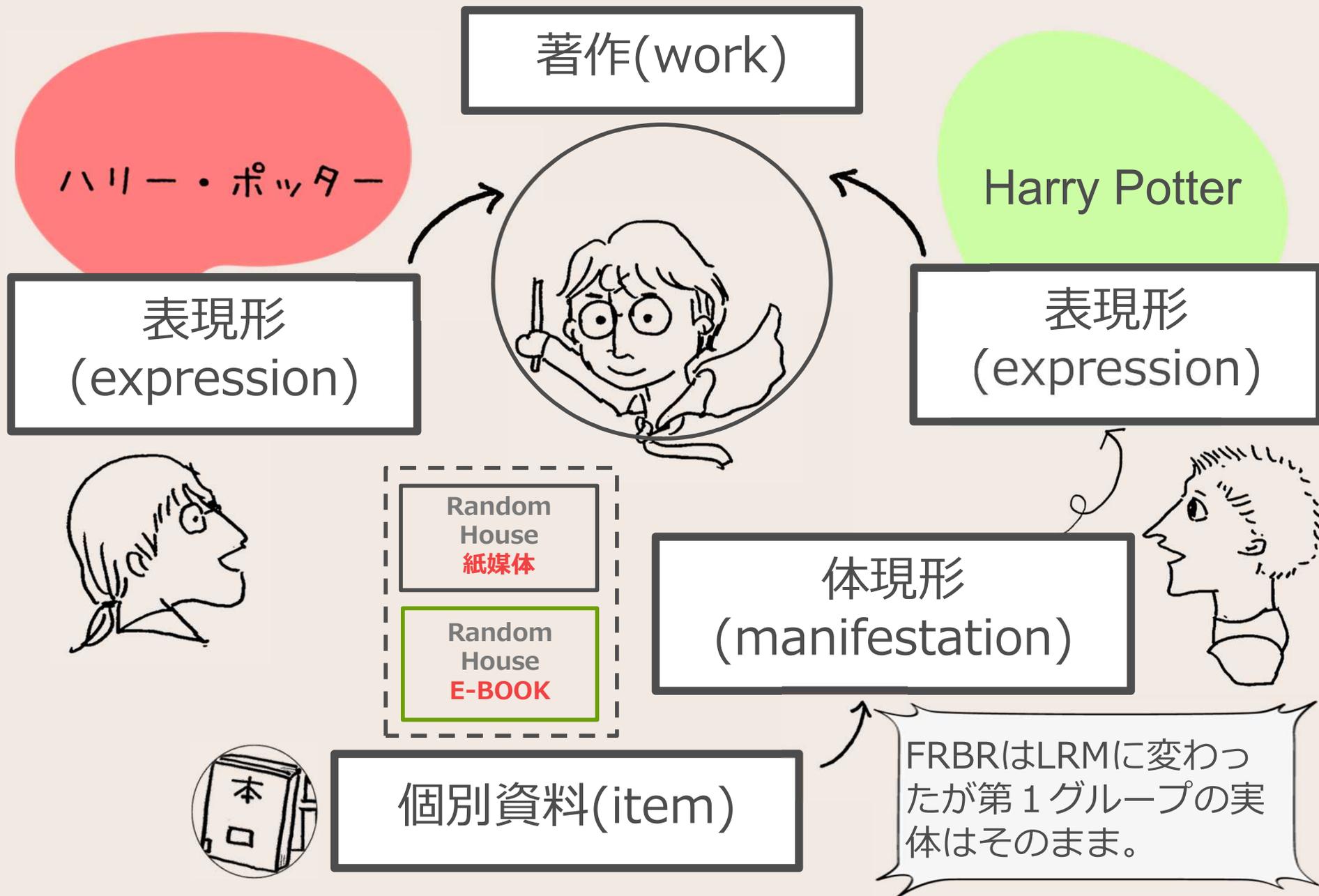
Harry Potter



Random  
House  
紙媒体

Random  
House  
E-BOOK





# 3. NACISIS-CATを使った 目録実務

## 総合目録データベース (NACISIS-CAT)

書誌・所蔵件数 (平成29年度末時点)

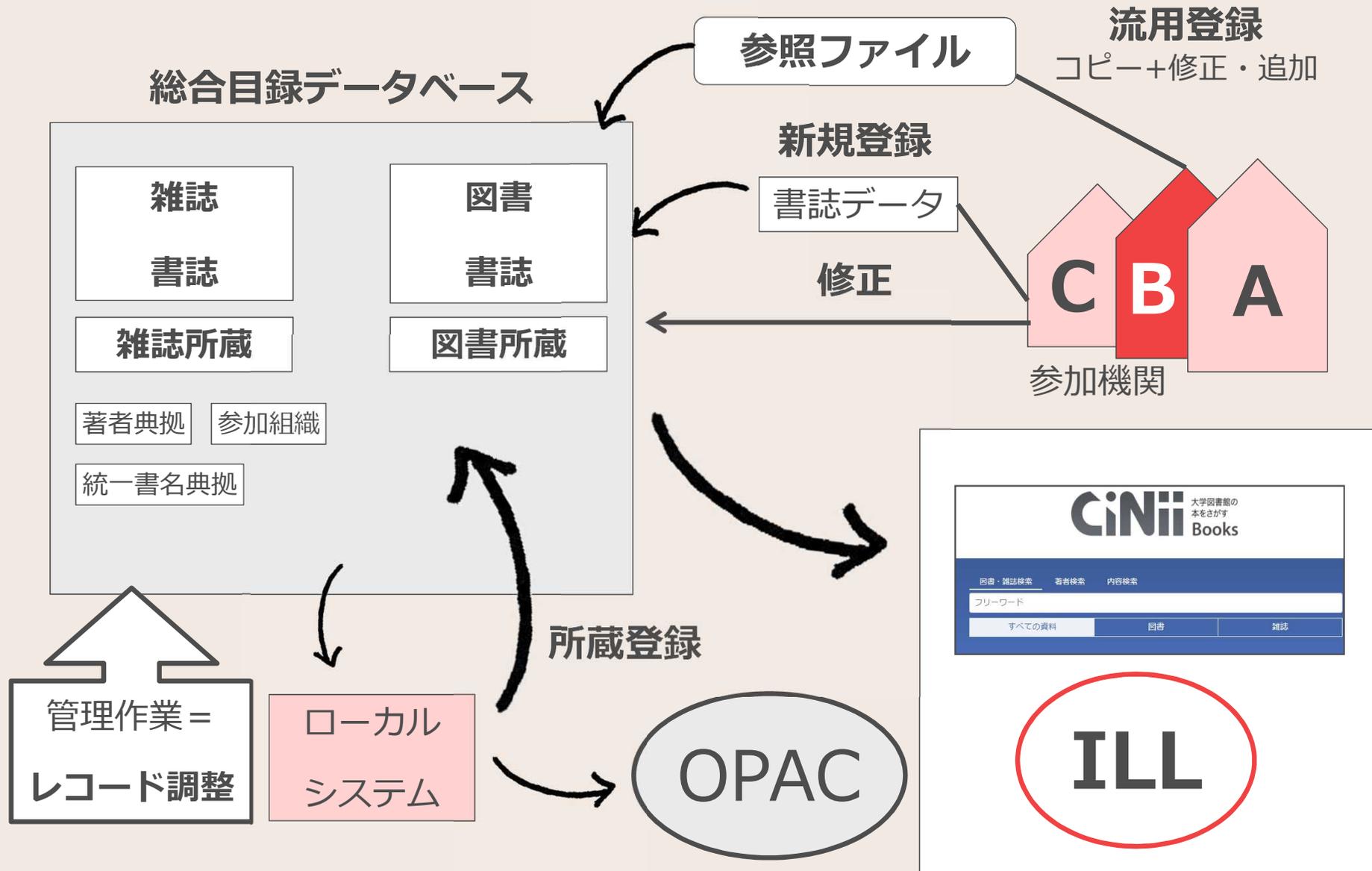
種類		件数
図書	書誌	11,423,587
	所蔵	135,333,915
雑誌	書誌	348,671
	所蔵	4,664,294

接続機関数 (2018年3月31日現在)

機関種別	機関数
国立大学	86
公立大学	90
私立大学	579
短期大学	119
高等専門学校	55
大学共同利用機関	14
海外機関	144
その他	247
合計	1,334

<https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/cat/>  
(2018年8月28日閲覧)

# NACISIS-CAT概要 2



利用者用も業務用も同じデータ = データの一意性重視

# NACISIS-CAT概要 3

## 書誌データ

**VOL:** ISBN: 9784758925082 **PRICE:** 1600円+税 **XISBN:**

**TR:** ネーミングの言語学 : ハリー・ポッターからドラゴンボールまで / 窪園晴夫著 || ネーミング ノ ゲンゴガク : ハリー ポッター カラ ドラゴン ボール マテ

**PUB:** 東京 : 開拓社 , 2008.10

**PHYS:** xi, 176p ; 19cm

**VT:** VT : ネーミングの言語学 : ハリーポッターからドラゴンボールまで || ネーミング ノ ゲンゴガク : ハリーポッター カラ ドラゴン ボール マテ

**NOTE:** 参考文献: p165-167

**NOTE:** 索引: p169-176

記述ブロック

**PTBL:** 開拓社言語・文化選書 || カイタクシャ ゲンゴ・ブンカ センシヨ <BA83363413> 8// a

リンクブロック

**AL:** 窪園, 晴夫(1957-) || クボゾノ, ハルオ <DA05894904>

**CLS:** NDC8 : 801.1

**CLS:** NDC9 : 801.1

**CLS:** NDC9 : 809

**SH:** BSH : 音韻学 || オンインガク // K

**SH:** BSH : ネーミング || ネーミング // K

主題ブロック

+

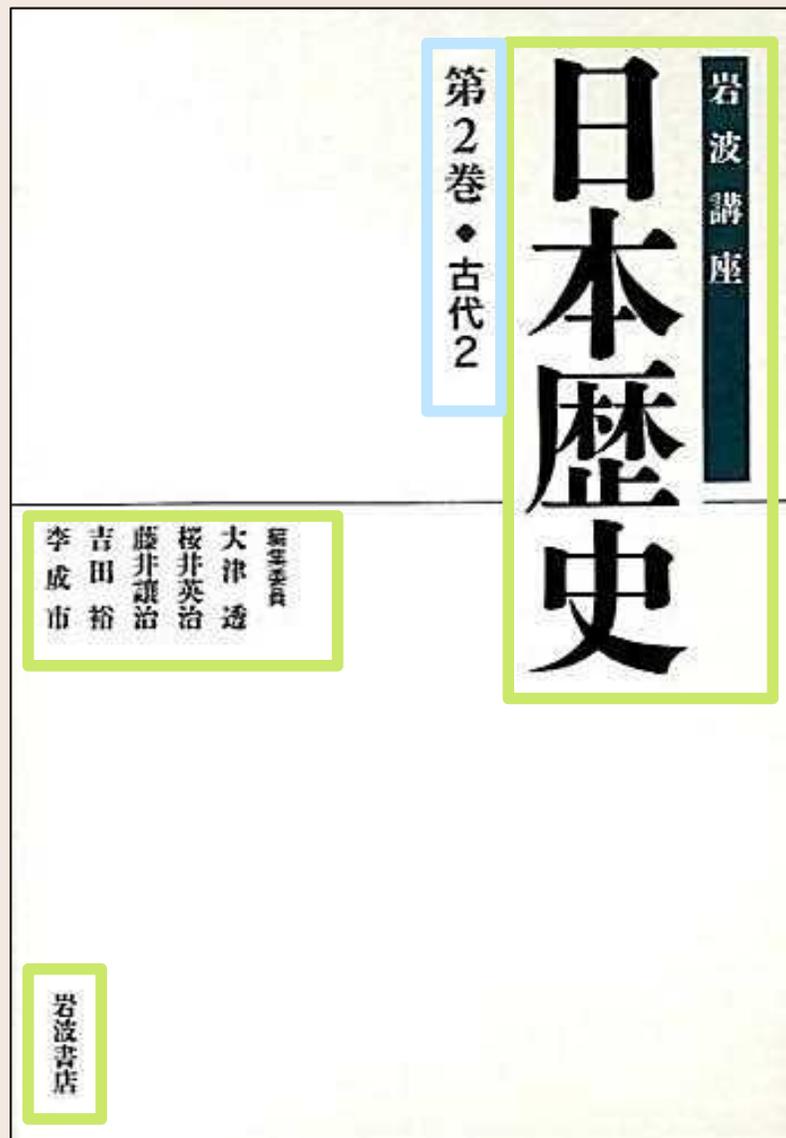
## 所蔵データ

<CC1080140243> <FA001878> 東外大 @

# NACISIS-CAT概要 4

どれをタイトルにする？

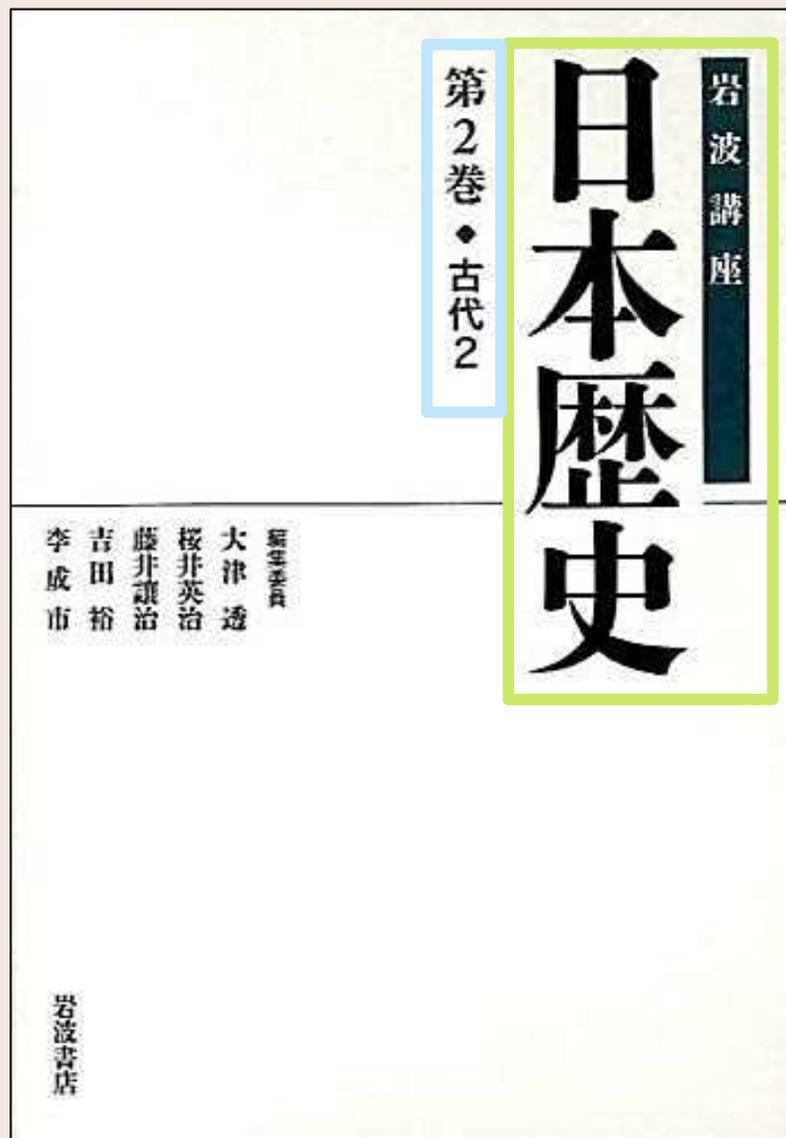
固有のタイトル



\*書影は版元ドットコム (<https://www.hanmoto.com/>, 2018年8月28日閲覧) による

## NACISIS-CAT概要 5

VOL



固有のタイトルを持っていない＝

**出版物理単位**

巻次等はVOLに入れ，一つのレコードにまとめる

VOL: 第1巻：原始・古代1 ISBN: 9784000113212 PRICE: 3200円+税 XISBN:

VOL: 第2巻：古代2 ISBN: 9784000113229 PRICE: 3200円+税 XISBN:

VOL: 第3巻：古代3 ISBN: 9784000113236 PRICE: 3200円+税 XISBN:

TR: 岩波講座日本歴史 / 大津透 [ほか] 編集 || イワナミ コウザ ニホン レキシ

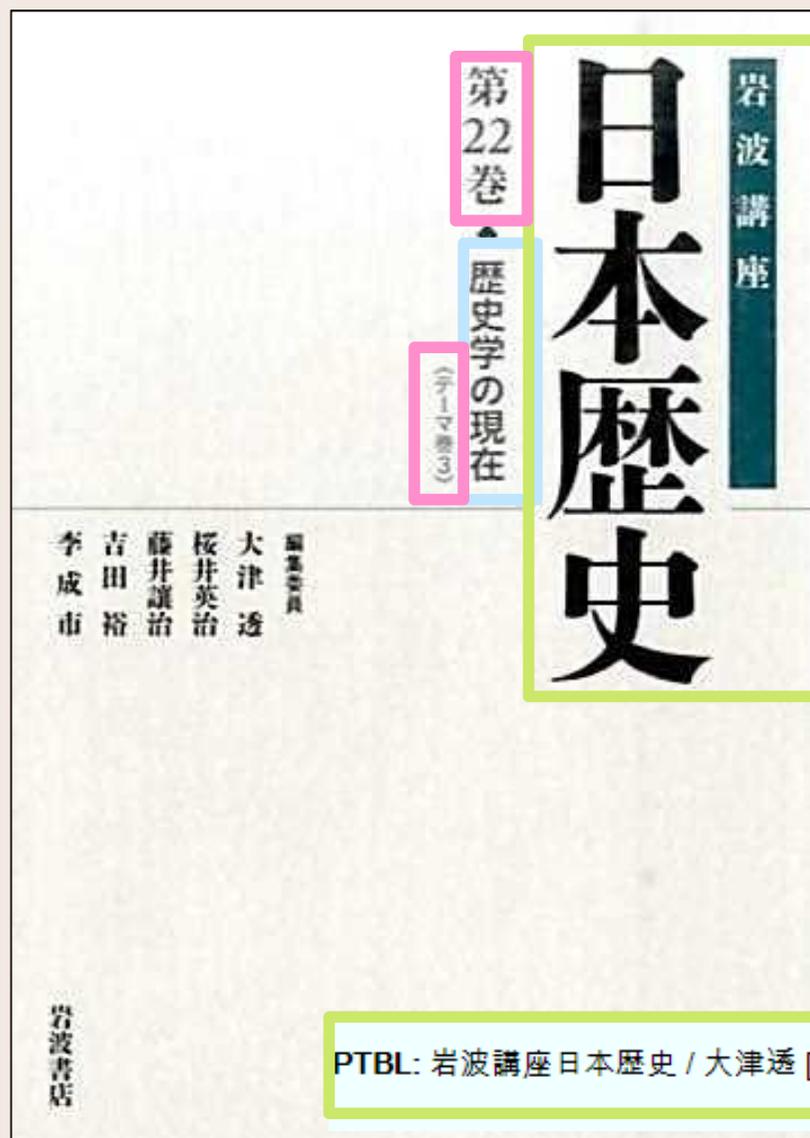
PUB: 東京：岩波書店，2013.11-2016.2

PHYS: 22冊 22cm

VT: VT：日本歴史：岩波講座 || ニホン レキシ：イワナミ コウザ

## NACISIS-CAT概要 6

## 書誌構造リンク



シリーズ = 親書誌  
 シリーズに属する単行書誌単位 = 子書誌

書誌構造リンクで表現

VOL: ISBN: 9784000113427 PRICE: 3200円+税 XISBN:

TR: 歴史学の現在 / 李成市 [ほか] 執筆 || レキシガク ノ ゲンザイ

PUB: 東京 : 岩波書店, 2016.2

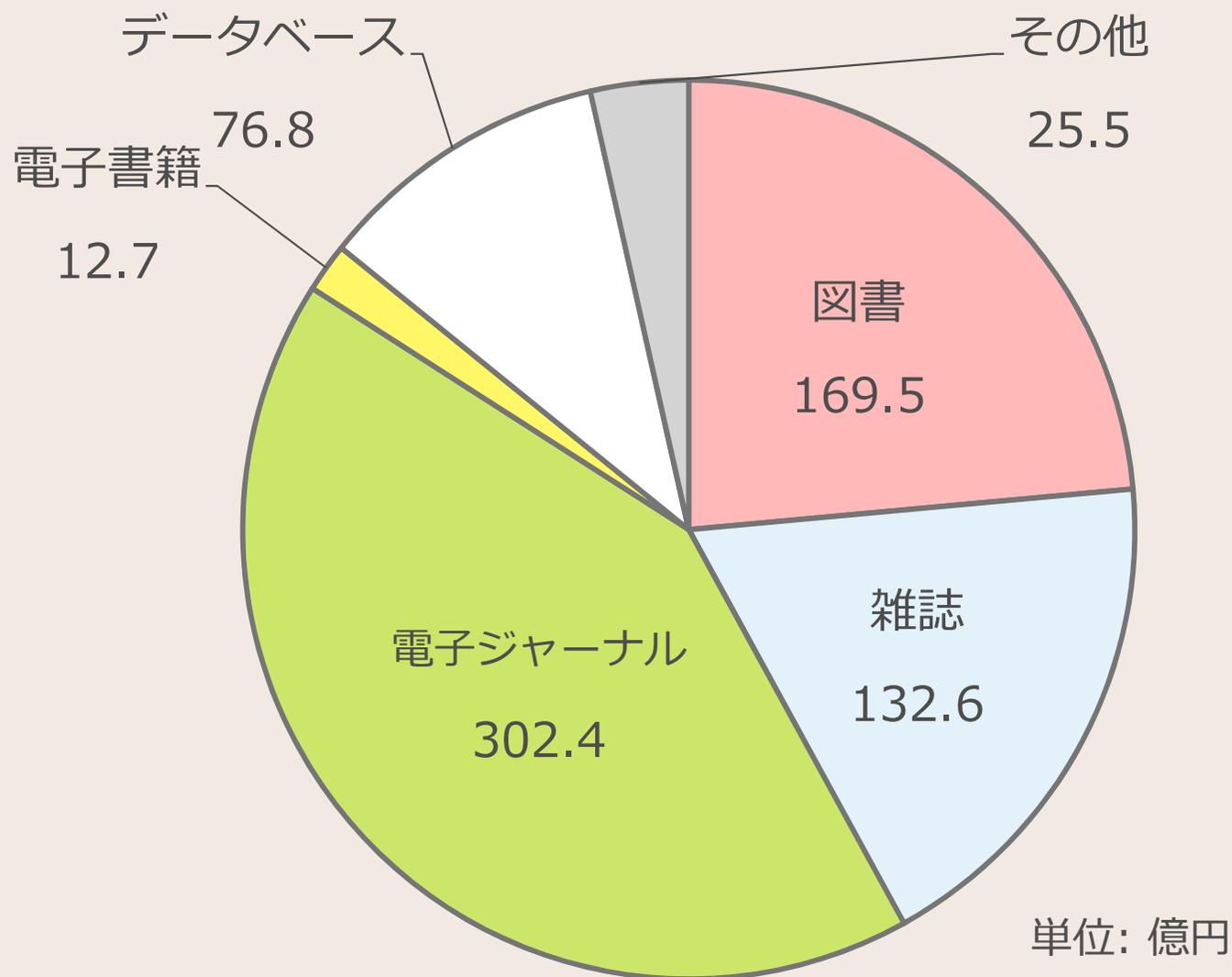
PHYS: xiii, 375p ; 22cm

PTBL: 岩波講座日本歴史 / 大津透 [ほか] 編集 || イワナミ コウザ ニホン レキシ <BB14042531> 第22巻 ; テーマ巻3 / b

# 4.CAT2020

# 電子資料の普及

## 図書館資料費

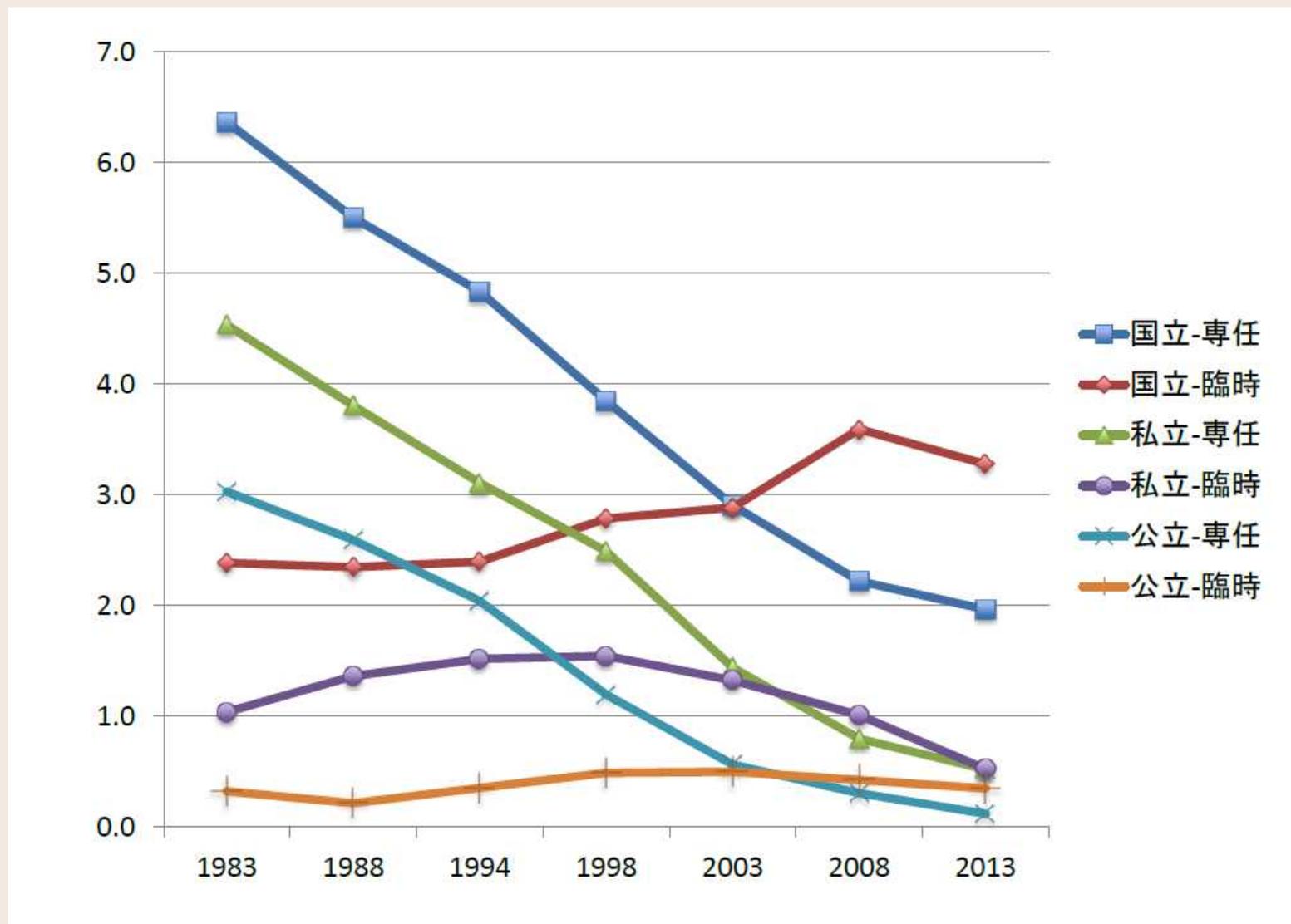


平成29年度学術情報基盤実態調査より作成

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/1266792.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/1266792.htm) (2018年9月4日閲覧)

# 大学図書館における目録担当者数の推移

## 1大学あたりの平均人数



「NACSIS-CATの再構築」佐藤義則平成28年5月26日. NIIオープンフォーラム講演資料  
[http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2016/track/pdf/20160526\\_CAT\\_1\\_sato\\_y.pdf](http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2016/track/pdf/20160526_CAT_1_sato_y.pdf) (2018年8月28日閲覧)

# NACISIS-CAT見直しに向けた提言

## 次世代目録所在情報サービスの在り方について 最終報告

- 資料：電子情報資源への対応
- システム：データ構造とデータ連携
- 運用：体制の抜本的見直しに向けて
  - NACISIS-CAT 外に存在する書誌データの活用
  - 運用体制

国立情報学研究所学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会（次世代目録ワーキンググループ）  
次世代目録所在情報サービスの在り方について（最終報告）（2009年3月）  
[https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/pdf/next\\_cat\\_last\\_report.pdf](https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/pdf/next_cat_last_report.pdf)（2018年8月28日閲覧）

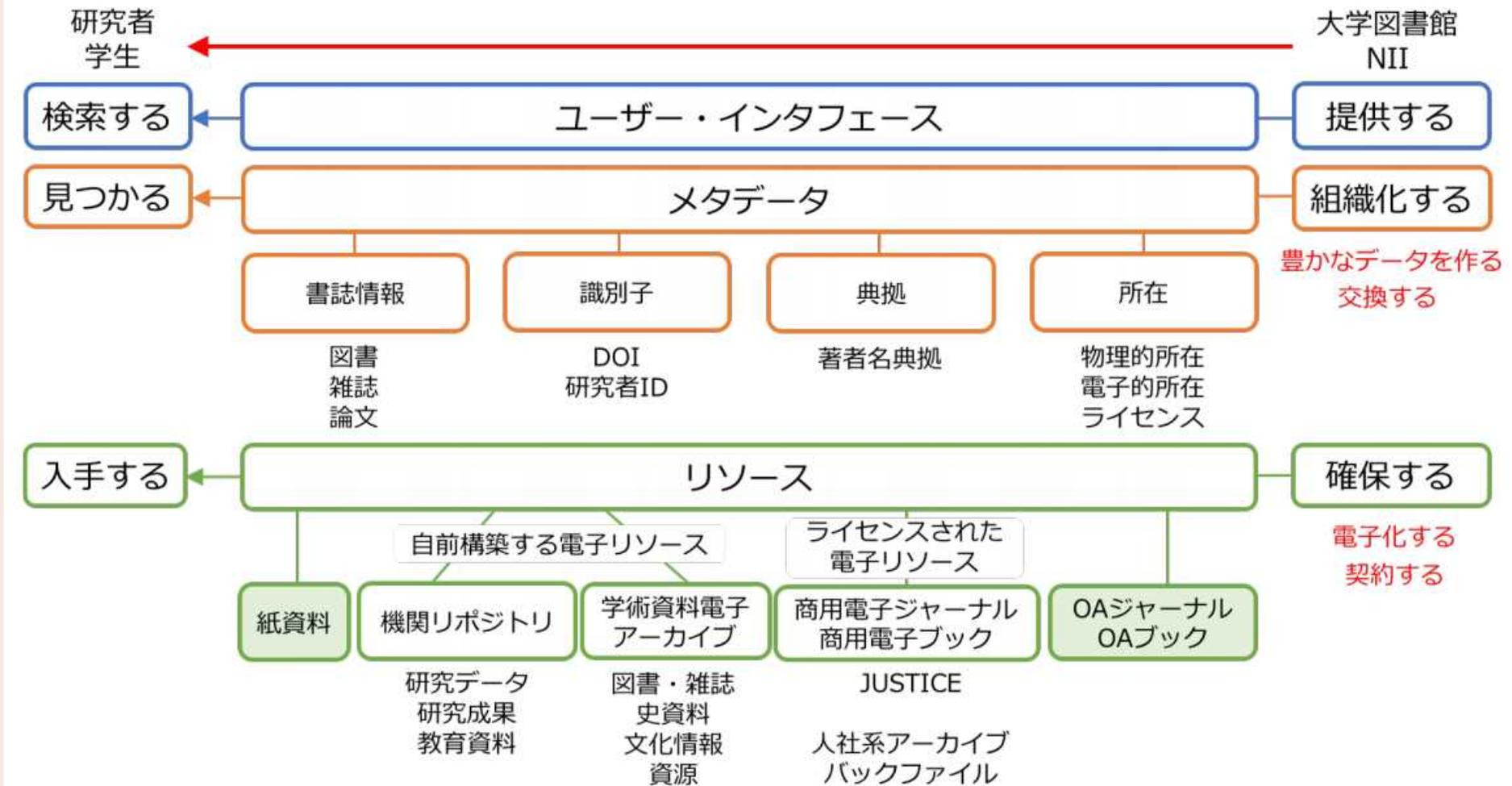
## 大学図書館と国立情報研究所との連携・協力推進会議 第8回連携・協力推進会議

…目録所在情報サービスの将来計画の検討については、重要な課題と認識しており、検討を加速させるためにも **2020年には現在のような枠組みでの目録システムは終了していることを想定して**、ワーキンググループだけでなく委員会としても議論していただきたい…

連携・協力推進会議 第8回議事要旨（2014年7月）  
[https://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/pdf/8-3\\_gijiyoshi.pdf](https://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/pdf/8-3_gijiyoshi.pdf)（2018年8月28日閲覧）

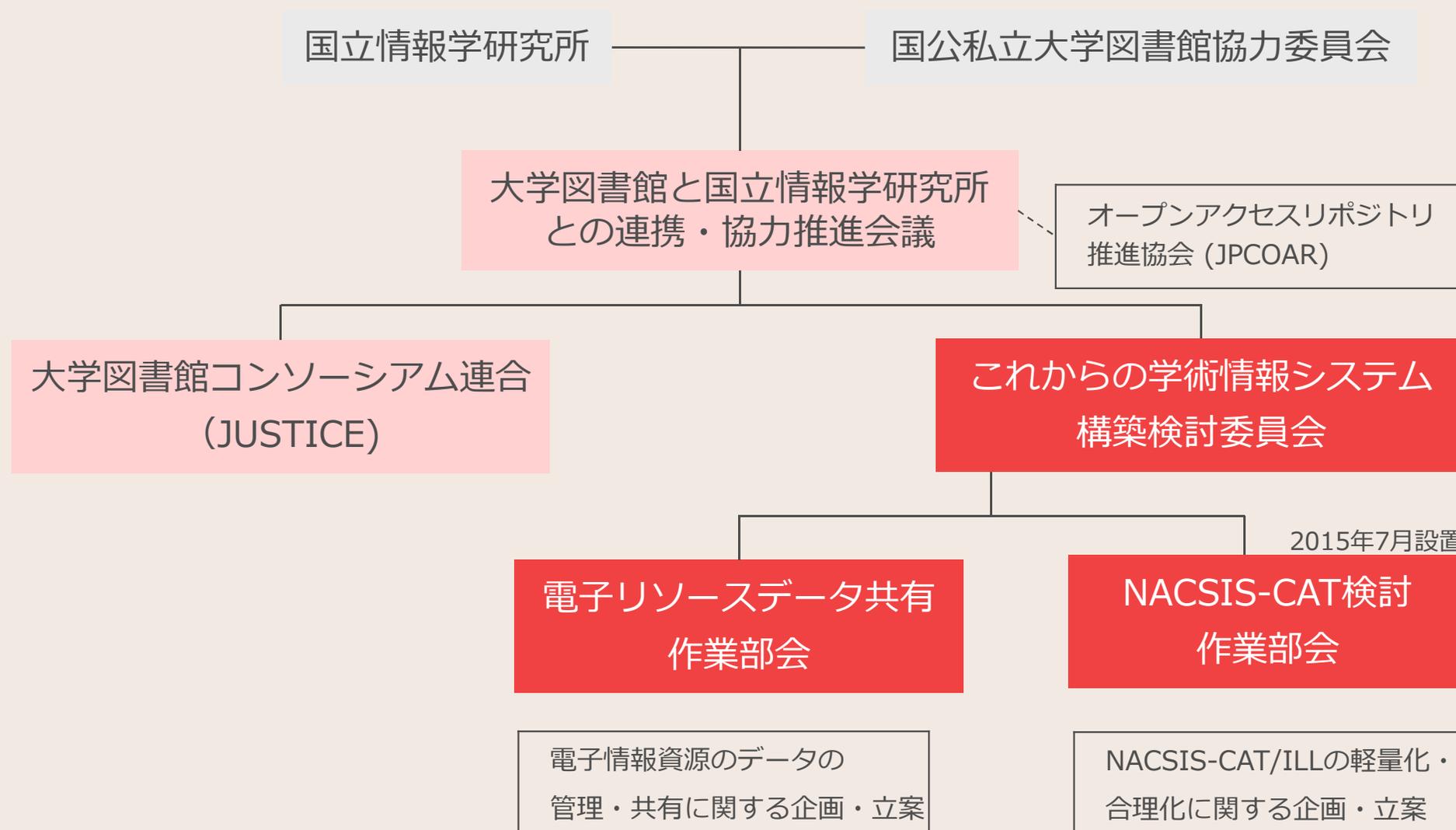
# これからの学術情報システム（概念図）

## データを組み合わせせてサービスをつくる



細川聖二. 情報システムから見たNACSIS-CAT/ILLの課題（第102回全国図書館大会）より抜粋  
[http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/jla\\_hosokawa\\_20161016.pdf](http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/jla_hosokawa_20161016.pdf)（2018年8月28日閲覧）

# NACISIS-CAT検討に関わる組織



第 14 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議（2017年7月）配布資料より作成  
[https://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/pdf/14-2\\_paper.pdf](https://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/pdf/14-2_paper.pdf)（2018年8月28日閲覧）

# これまでに公開したドキュメント

平成27年10月27日公開

NACISIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針案の要点）

平成28年6月29日公開

NACISIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針）

平成29年2月8日公開

NACISIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（実施方針）

平成30年1月25日公開

「NACISIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（実施方針）」からの  
変更について

# CAT2020のポイント

# CAT2020のポイント



# 出版物理単位での書誌作成 (VOLばらし)

## 一冊 = 1 ID

### 自動登録など精度の向上

### 外部データベースとの相互運用性の強化

一冊ごとの形状、注記などの書誌記述の充実

- 表紙画像、あらすじ、目次の表示や本文画像へのリンクなどサービス  
拡張性の向上

- 和漢古書など一部の書誌データは例外的に許可
- 遡及的な出版物理単位への分割は、実施しない
- 既存書誌データへのVOLグループの追加を禁止
- 新基準適用後も既存書誌データへの所蔵登録は可能

VOL: 第1巻 : 原始・古代1 ISBN: 9784000113212 PRICE: 3200円+税 XISBN:

VOL: 第2巻 : 古代2 ISBN: 9784000113229 PRICE: 3200円+税 XISBN:

VOL: 第3巻 : 古代3 ISBN: 9784000113236 PRICE: 3200円+税 XISBN:

TR: 岩波講座日本歴史 / 大津透 [ほか] 編集 || イワナミ コウザ ニホン レキシ

PUB: 東京 : 岩波書店 2013.11-2016.2

PHYS: 22冊 22cm

VT: VT : 日本歴史 : 岩波講座 || ニホン レキシ : イワナミ コウザ

# 書誌構造リンク (親書誌リンク) の任意化

## 現在は必須→任意化

親書誌データに相当するタイトル及び責任表示、番号等をリンクではなく文字列で記録

※別言語形のシリーズタイトルがあれば行を繰り返す

ただし、手動によるリンク形成機能も維持

# レコード調整の廃止

発見館修正不可の項目（現在はレコード調整対象）は**別書誌作成**で対応する

→作成した別書誌レコードは**並立書誌データ**（×重複書誌データ）

→稀覯本や複製資料等、現在でも重複とみなさないデータも**並立書誌データ**

**並立書誌データは統合されない / 重複書誌データは統合される**

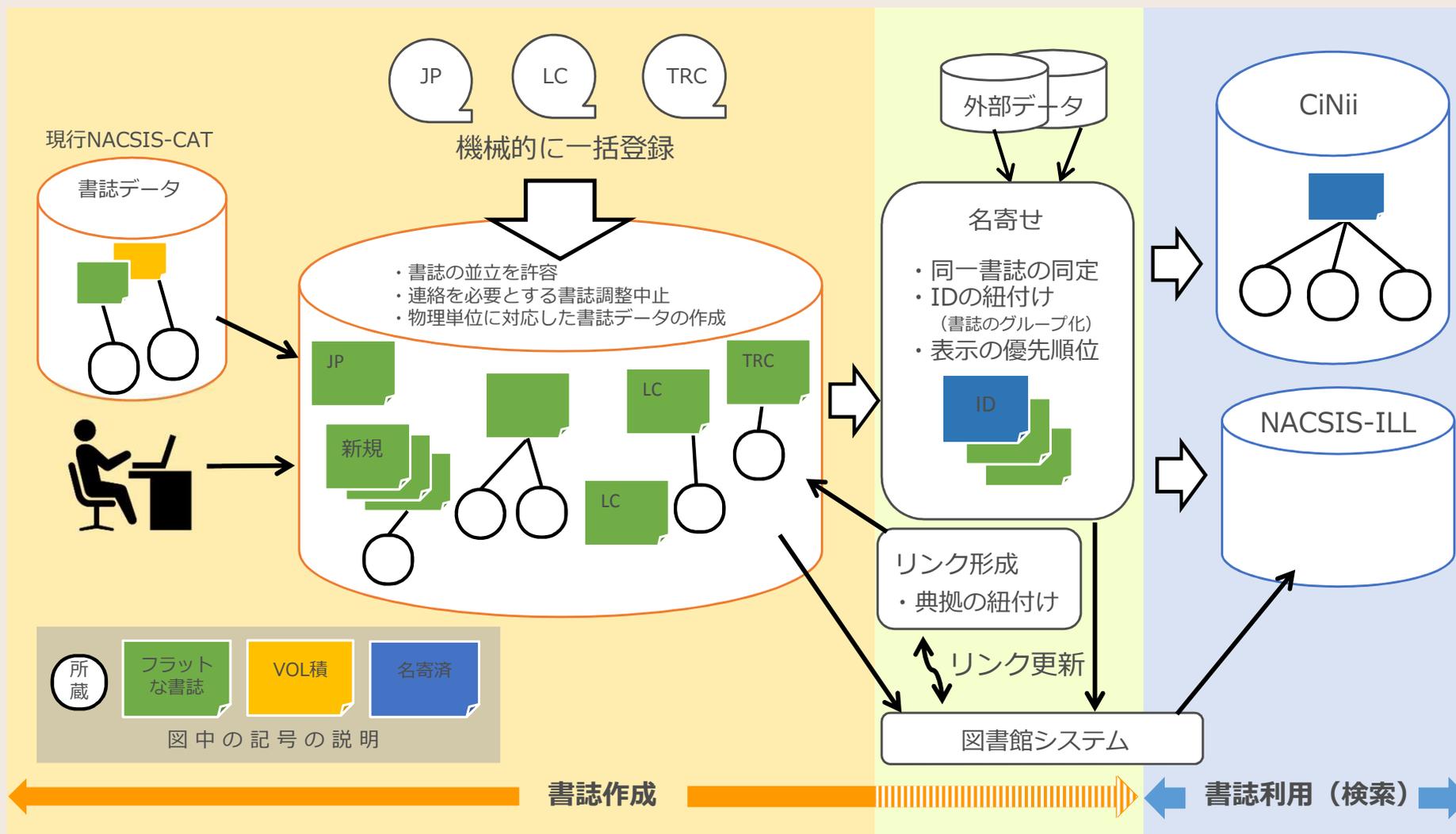
データ種別	旧基準書誌データ	システム登録書誌データ	参加館登録書誌データ
旧基準書誌データ	(統合する)	事前処理によって重複は生じない	旧基準書誌データへ統合する
システム登録書誌データ		システム追記のため重複は生じない	システム登録書誌データへ統合する
参加館登録書誌データ			先に登録された参加館書誌データへ統合する

稀覯本（和漢古書等の記述対象資料毎に書誌データを作成するもの等）は統合しない。

図7 重複書誌データの統合

# 外部機関作成データの活用

# CAT2020概念図



# 外部機関作成データの活用 1

## 書誌データ

### ● システム登録による利用

– 新基準に合致する書誌データは、あらかじめシステム登録書誌データとして  
図書書誌データセットに登録

### ● コピー元データとしての例外的利用

– 一部の新基準に合致しない書誌データ及びZ39.50接続によって現在取得している  
書誌データは、参加館登録書誌データの作成の際にコピー元データとして利用

### ● 現在「参照ファイル」として登録されているデータの取扱

- 高頻度での利用が予想される一定期間のデータのみ、システム登録書誌データとして  
図書書誌データセットに直接登録
- 上記以外は、参加館登録書誌データの作成の際にコピー元データとして活用

# 参照MARCの事前登録の変更

## PREBOOK

- 複数の書誌が並立することによる業務の煩雑化
- 所蔵をもたない書誌がBOOK中に多数発生することへの危惧



NACSIS-CAT検討作業部会および国立情報学研究所で、システムベンダーも交えて対応策の検討

意見交換会

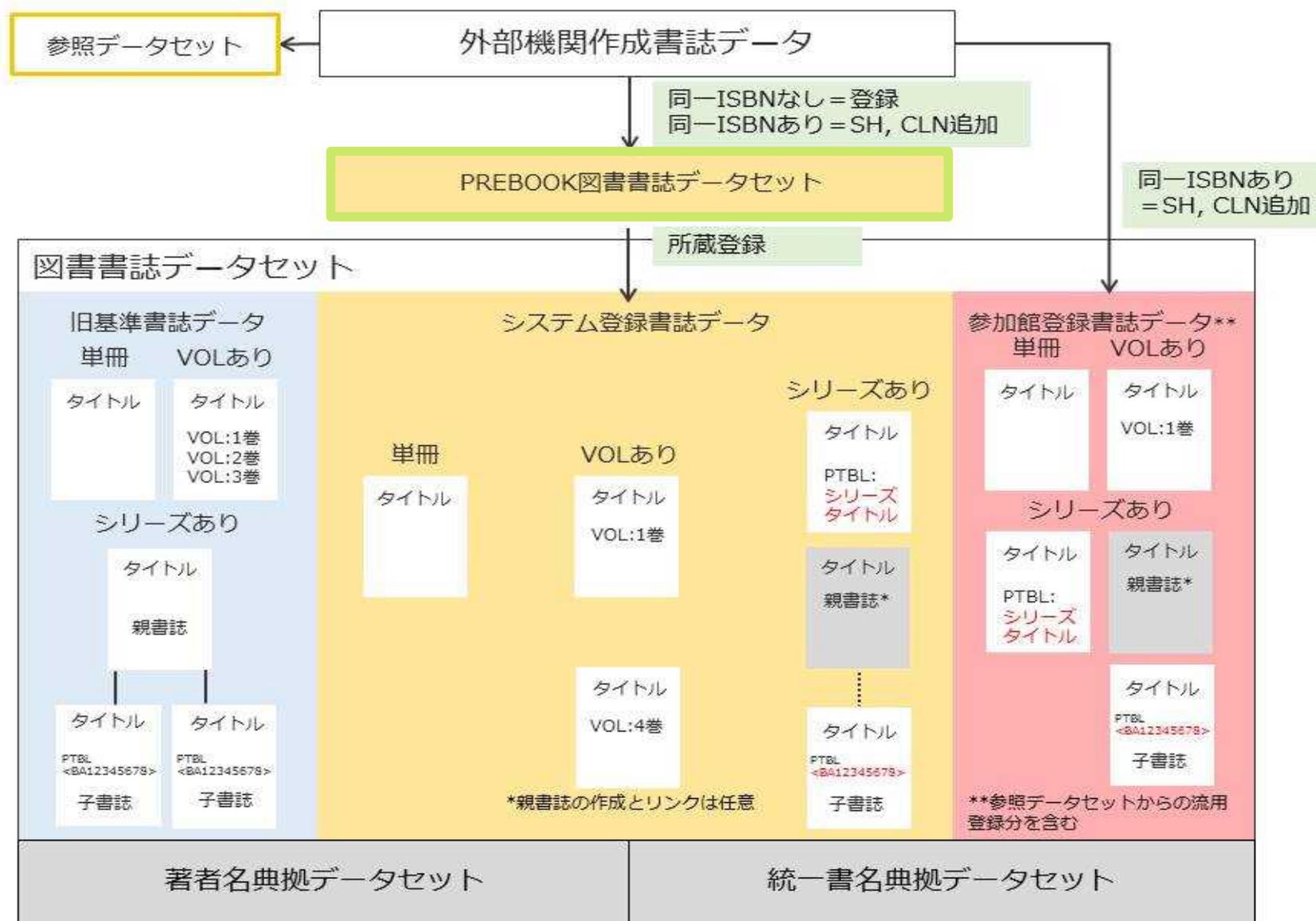


技術的な検討



- 新たに**PREBOOKレコードセット**を設け、参照MARCのシステム登録はBOOKにではなく、PREBOOKに行う。
- 同一のISBNをもつ書誌がすでに登録されている場合には、書誌は登録せず、**書誌分類、件名等の情報を登録済みの書誌に系統的に追加**する。
- PREBOOKの書誌に所蔵登録を行うと該当書誌は自動的にBOOKに移行する。  
**(= 所蔵未登録の書誌はPREBOOK上のみ)**
- ILL業務では、BOOKのみを対象として検索を行い、所蔵未登録書誌は検索対象としない。  
※目録業務ではBOOKとPREBOOKのシームレスな横断検索環境を提供する。

## 新基準適用後のNACSYS-CAT (改定版)



第20回これからの学術情報システム構築検討委員会 (2018年6月) 配布資料より作成

[https://www.nii.ac.jp/content/korekara/about/document/pdf/korekara\\_doc20180611.pdf](https://www.nii.ac.jp/content/korekara/about/document/pdf/korekara_doc20180611.pdf) (2018年8月28日閲覧)

# 外部機関作成データの活用 2

## 著者名典拠データ

### ● システム登録による利用

- 著者名典拠データセットに存在せず、活用が期待できる外部機関作成著者名典拠データの一部は、あらかじめ著者名典拠データセットに登録
- 書誌データとの自動リンク（従来通りの手動リンク機能も残す）

## 統一書名典拠データ

### ● 現行基準を維持

- NACSIS-CATでの「統一書名の基準」に合致しないものがフィールドに入らないようにデータ変更ルールを見直す

# 書誌利用機能 / システムへの対応 (検討中)

## 書誌利用機能

- NACSIS-ILL
  - 書誌検索時に **並立書誌データ** をまとまりをもったグループとして提供
  - 所蔵なし書誌データは検索及び表示の対象としない

## システムへの対応

- 通信プロトコル
  - 各図書館システムとの通信プロトコルは, **CATPを維持**
  - スキーマバージョンの追加は実施するが, 既存のスキーマバージョンも維持
- 書誌作成業務
  - 現行の図書館システムの書誌作成機能での対応を想定
- 書誌構造リンク
  - リンク形成を任意化する影響…?

## スケジュール

年度	2018年度 (H30)				2019年度 (H31)				2020年度 (H32)
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
運用	運用ガイドライン				NACISIS-CAT関連 マニュアル・ツール確認				CAT2020 スタート
参加館側のシステム	ベンダーとの調整				テスト				

**ご質問をどうぞ！**

# 参考資料1

## [目録実務関連]

- 田窪直規 [ほか] 共著.資料組織概説. 3訂. 樹村房, 2007.3
- 小西和信, 田窪直規 編著.情報資源組織演習. 改訂. 樹村房, 2017.3
- 日本図書館情報学会研究委員会編.メタデータとウェブサービス. 勉誠出版, 2016.11
- 日本図書館協会目録委員会編. 「日本目録規則 (NCR) 2018年版」 (仮称) 全体条文案概要. 日本図書館協会, 2017.9
- 和中幹雄. IFLA Library Reference Modelの概要 (平成30年3月20日) <http://current.ndl.go.jp/ca1923>

## 参考資料2

### [CAT2020関連]

- 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト最終報告（平成17年10月）  
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/pdf/kadaiPT-last-report.pdf>
- 次世代目録所在情報サービスの在り方について（最終報告）（平成21年3月）  
[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/pdf/next\\_cat\\_last\\_report.pdf](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/pdf/next_cat_last_report.pdf)
- 平成27年度学術情報システム総合ワークショップ講義資料（平成27年6月25日）  
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/h27/curritxt.html>  
佐藤義則「これからの学術情報システム構築の方向性」  
熊渕智行「「これからの学術情報システム」の在り方について」  
高橋菜奈子「これからのNACSIS-CATの制度設計」
- 熊渕智行「これからの学術情報システムとNACSIS-CAT/ILL」（カレントアウェアネスCA1862）（平成27年12月20日） <http://current.ndl.go.jp/ca1862>
- NII OPEN FORUM 2016「2020年のNACSIS-CAT/ILL」講演資料（平成28年5月26日）  
[http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2016/track/day2\\_2.html#period2](http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2016/track/day2_2.html#period2)  
佐藤義則「NACSIS-CATの再構築」  
佐藤初美「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針）（案）」  
大向一輝「情報システムとしてのNACSIS-CAT/ILLの課題と展望」
- NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針）（平成28年6月29日）  
[http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara\\_doc20160629.pdf](http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20160629.pdf)

## 参考資料3

- 平成28年度大学図書館職員短期研修（平成28年10月5日, 11月30日）  
藤井 眞樹「大学図書館における目録業務とNACSIS-CATの現状及び今後の構想」  
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/librarian/h28/index.html>
- 第102回全国図書館大会（平成28年10月16日）  
第2分科会大学図書館「2020年に向けたNACSIS-CAT/ILLの再構築」  
三角太郎「NACSIS-CAT検討作業部会における検討状況」  
[http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/jla\\_misumi\\_20161016.pdf](http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/jla_misumi_20161016.pdf)  
細川聖二「情報システムから見たNACSIS-CAT/ILLの課題」  
[http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/jla\\_hosokawa\\_20161016.pdf](http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/jla_hosokawa_20161016.pdf)
- 第18回図書館総合展NIIフォーラム（平成28年11月9日）  
「NACSIS-CAT/ILLと電子リソース：2020年の学術情報システム」  
佐藤初美「NACSIS-CAT検討作業部会の検討状況について」  
[http://www.nii.ac.jp/userimg/libraryfair2016/2016\\_LFF\\_2.pdf](http://www.nii.ac.jp/userimg/libraryfair2016/2016_LFF_2.pdf)
- 平成28年度目録システム書誌作成研修（平成28年11月25日）  
村上遥「NACSIS-CAT検討作業部会の検討状況について」  
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/cat/h28/h28.pdf>
- NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（実施方針）（平成29年2月8日）  
[http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara\\_doc20170208.pdf](http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20170208.pdf)
- 平成28年度国立大学図書館協会地区協会助成事業九州地区講演会（平成29年3月10日）  
大西賢人「CAT2020—NACSIS-CAT検討作業部会の検討状況について」  
<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/recordID/1806771>

## 参考資料4

- NII OPEN FORUM 2017 講演資料（平成29年6月8日）  
三角太郎「NACSIS-CATの軽量化・合理化について（実施方針）」  
[http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2017/track/pdf/20170608AM\\_Cont\\_02\\_misumi.pdf](http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2017/track/pdf/20170608AM_Cont_02_misumi.pdf)
- LIMEDIO Seminar 2017 in 大阪（平成29年8月2日）  
大西賢人「NACSIS-CAT検討作業部会の最新の検討状況、そして今後の展開」
- LIMEDIO Seminar 2017 in 東京（平成29年8月7日）  
三角太郎「NACSIS-CAT検討作業部会の最新の検討状況、そして今後の展開」
- 「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（実施方針）」からの変更について（平成30年1月25日）  
[https://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara\\_doc20180125.pdf](https://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20180125.pdf)
- LIMEDIO Seminar 2018 in 東京, 大阪（平成30年8月3日, 8日）  
三角太郎「NACSIS-CAT検討作業部会の最新検討状況について」

Step forward...

